

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第1区分
【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公表番号】特表2001-524834(P2001-524834A)
【公表日】平成13年12月4日(2001.12.4)
【出願番号】特願平10-549203
【国際特許分類第7版】
A 2 3 L 3/3436
【F I】
A 2 3 L 3/3436

【手続補正書】
【提出日】平成16年12月24日(2004.12.24)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年12月24日

特許庁長官 殿



1. 事件の表示

平成10年 特許願 第549203号

2. 補正をする者

名 称 パクティヴ・コーポレーション

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル206区
ユアサハラ法律特許事務所

電 話 3270-6641~6646

氏 名 (8970) 弁理士 社 本 一 夫



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

別紙の通り



(別紙)

1. 本願特許請求の範囲を以下のように補正する。

『 請 求 の 範 囲

1. 変性大気包装に用いる酸素捕捉用パッケージであって、

(a) 囲包された空隙を画定する複数の側壁と、

(b) 該囲包された空隙内にある、鉄、シリカゲル及び二酸化炭素発生剤を含む酸素吸収剤と、

(c) 該囲包された空隙内にある分離した区画室内に位置づけられている、水を含む液体酸素取込促進剤と、を具備し、

該囲包された空隙内にある分離した区画室は、破壊され得るものであり、

該分離した区画室内の内容物は、液体酸素取込促進剤から本質的になり、

酸素吸収剤が酸素取込促進剤と接触するようになる直後に、鉄約2.5gあたり約0.2ml～約0.8mlの範囲の量で該パッケージ内に存在する該液体酸素取込促進剤は、酸素約2%及び二酸化炭素約20%を有する空気から本質的になるクオートサイズの変性大気包装内の酸素濃度を約34°F (1.1°C) にて約90分間で約0.5%未満まで減少させ得るものである、酸素捕捉用パッケージ。

2. 前記酸素取込促進剤は、鉄約2.5gあたり約0.3ml～約0.7mlの範囲の量で前記パッケージ内に存在する、請求項1に記載の酸素捕捉用パッケージ。

3. 前記酸素取込促進剤は、鉄約2.5gあたり約0.6mlの量で前記パッケージ内に存在する、請求項1に記載の酸素捕捉用パッケージ。

4. 前記鉄は、電解的にアニールされ還元される、請求項1に記載の酸素捕捉用パッケージ。

5. 前記酸素取込促進剤は、脆弱なカプセル内に含まれており、該脆弱なカプセルを破壊することによって前記酸素取込促進剤は前記酸素吸収剤上に直接導入される、請求項1に記載の酸素捕捉用パッケージ。

6. 前記酸素取込促進剤は、吸水性芯内に含まれており、該吸水性心は前記パッケージの外部から前記複数の壁の少なくとも一つを通して前記囲包された空隙内まで延在する、請求項1に記載の酸素捕捉用パッケージ。

7. 前記酸素取込促進剤は、さらに、酸を含む、請求項1に記載の酸素捕捉用

パケット。

8. 前記酸素取込促進剤は、約5%の酢酸を含む、請求項7に記載の酸素捕捉用パケット。

9. 前記シリカゲルは、二酸化炭素発生剤で含浸されている、請求項1に記載の酸素捕捉用パケット。

10. 鉄約2.5gあたり、約0.4ml~約0.6mlの前記酸素取込促進剤が前記パケット内に存在する、請求項1に記載の酸素捕捉用パケット。

11. 前記鉄は、電解的にアニールされ還元されている、請求項10に記載の酸素捕捉用パケット。

12. さらに、前記液体酸素取込促進剤を酸素吸収剤上に直接導入する手段を含む、請求項1に記載の酸素捕捉用パケット。

13. 前記酸は、クエン酸である、請求項7に記載の酸素捕捉用パケット。

14. 前記酸は、酢酸である、請求項7に記載の酸素捕捉用パケット。

15. 前記鉄は、電解的にアニールされ還元されている、請求項14に記載の酸素捕捉用パケット。

16. 前記酸素取込促進剤は、さらに、塩を含む、請求項1に記載の酸素捕捉用パケット。

17. 前記塩は、熔融塩である、請求項16に記載の酸素捕捉用パケット。

18. 前記酸素取込促進剤は、さらに、銅を含む、請求項1に記載の酸素捕捉用パケット。

19. 酸素感応性物質を含む変性大気包装中の酸素濃度を減少させる方法であって、

(a) 該変性大気包装中に、(i) 囲包された空隙を画定する複数の側壁と、(i i) 該囲包された空隙内にある、鉄、シリカゲル及び二酸化炭素発生剤を含む酸素吸収剤と、を具備する酸素捕捉用パケットを置く工程と、

(b) 該酸素吸収剤上に、水を含む液体酸素取込促進剤を直接導入する工程と、

(c) すぐに、該変性大気包装を封止する工程と、

を含み、該パケット内に導入される液体酸素取込促進剤の量は、鉄約2.5gあたり約0.2ml~約0.8mlの範囲の量である、方法。

20. 前記酸素取込促進剤は、鉄約2.5gあたり約0.3ml～約0.7mlの範囲の量で前記パケット内に存在する、請求項19に記載の方法。
21. 前記酸素取込促進剤は、鉄約2.5gあたり約0.4ml～0.6mlの量で前記パケット内に存在する、請求項19に記載の方法。
22. 前記酸素取込促進剤は、鉄約2.5gあたり約0.6mlの量で前記パケット内に存在する、請求項21に記載の方法。
23. 前記鉄は、電解的にアニールされ還元される、請求項21に記載の方法。
24. 前記鉄は、電解的にアニールされ還元された鉄である、請求項19に記載の方法。
25. 前記酸素取込促進剤は、脆弱なカプセル内に含まれており、該脆弱なカプセルを破壊することによって前記酸素取込促進剤は前記酸素吸収剤上に直接導入される、請求項19に記載の方法。
26. 前記酸素取込促進剤は、吸水性芯内に含まれており、該吸水性心は前記パケットの外部から前記複数の壁の少なくとも一つを通して前記囲包された空隙内まで延在する、請求項19に記載の方法。
27. 前記酸素取込促進剤は、さらに、酸を含む、請求項19に記載の方法。
28. 前記酸は、クエン酸である、請求項27に記載の方法。
29. 前記酸は、酢酸である、請求項27に記載の方法。
30. 前記酸素取込促進剤は、約5%の酢酸を含む、請求項29に記載の方法。
31. 前記鉄は、電解的にアニールされ還元されている、請求項29に記載の方法。
32. 前記シリカゲルは、二酸化炭素発生剤で含浸されている、請求項19に記載の方法。
33. 前記パケットは、さらに、前記液体酸素取込促進剤を酸素吸収剤上に直接導入する手段を含む、請求項19に記載の方法。
34. 前記酸素取込促進剤は、さらに、塩を含む、請求項19に記載の方法。
35. 前記塩は、熔融塩である、請求項34に記載の方法。
36. 前記酸素取込促進剤は、さらに、銅を含む、請求項19に記載の方法。
37. 前記酸素吸収剤上に酸素取込促進剤を直接導入する工程は、該酸素吸収

剤上に該酸素取込促進剤を注入する工程を含む、請求項19に記載の方法。

38. 前記酸素吸収剤上に酸素取込促進剤を直接導入する工程は、注射器を用いて行われる、請求項37に記載の方法。

39. 前記酸素吸収剤上に酸素取込促進剤を直接導入する工程は、酸素取込促進剤を含有する脆弱なカプセルを前記パッケージ中に置く工程を含み、該脆弱なカプセルを破壊することによって前記酸素吸収剤上に酸素取込促進剤が直接導入される、請求項37に記載の方法。

40. 変性大気包装内に含有されている新鮮な肉類におけるメトミオグロビンの形成を最小化する方法であって、

(a) 該変性大気包装中に、(i) 囲包された空隙を画定する複数の側壁と、(i i) 該囲包された空隙内にある、鉄、シリカゲル及び二酸化炭素発生剤を含む酸素吸収剤と、を具備する酸素捕捉用パッケージを置く工程と、

(b) 該酸素吸収剤上に、水を含む液体酸素取込促進剤を直接導入する工程と、

(c) すぐに、該変性大気包装を封止する工程と、

を含み、該パッケージ内に導入される液体酸素取込促進剤の量は、鉄約2.5gあたり約0.2ml~約0.8mlの範囲の量である、方法。

41. 前記酸素取込促進剤は、鉄約2.5gあたり約0.3ml~約0.7mlの範囲の量で前記パッケージ内に存在する、請求項40に記載の方法。

42. 前記酸素取込促進剤は、鉄約2.5gあたり約0.4ml~0.6mlの量で前記パッケージ内に存在する、請求項40に記載の方法。

43. 前記酸素取込促進剤は、鉄約2.5gあたり約0.6mlの量で前記パッケージ内に存在する、請求項42に記載の方法。

44. 前記鉄は、電解的にアニールされ還元される、請求項42に記載の方法。

45. 前記鉄は、電解的にアニールされ還元された鉄である、請求項40に記載の方法。

46. 前記酸素取込促進剤は、脆弱なカプセル内に含まれており、該脆弱なカプセルを破壊することによって前記酸素取込促進剤は前記酸素吸収剤上に直接導入される、請求項40に記載の方法。

47. 前記酸素取込促進剤は、吸水性芯内に含まれており、該吸水性心は前記

パケットの外部から前記複数の壁の少なくとも一つを通して前記囲包された空隙内まで延在する、請求項４０に記載の方法。

４８． 前記酸素取込促進剤は、さらに、酸を含む、請求項４０に記載の方法。

４９． 前記酸は、クエン酸である、請求項４８に記載の方法。

５０． 前記酸は、酢酸である、請求項４８に記載の方法。

５１． 前記酸素取込促進剤は、約５％の酢酸を含む、請求項５０に記載の方法。

５２． 前記鉄は、電解的にアニールされ還元されている、請求項５０に記載の方法。

５３． 前記シリカゲルは、二酸化炭素発生剤で含浸されている、請求項４０に記載の方法。

５４． 前記パケットは、さらに、前記液体酸素取込促進剤を酸素吸収剤上に直接導入する手段を含む、請求項４０に記載の方法。

５５． 前記酸素取込促進剤は、さらに、塩を含む、請求項４０に記載の方法。

５６． 前記塩は、熔融塩である、請求項５５に記載の方法。

５７． 前記酸素取込促進剤は、さらに、銅を含む、請求項４０に記載の方法。

５８． 前記酸素吸収剤上に酸素取込促進剤を直接導入する工程は、該酸素吸収剤上に該酸素取込促進剤を注入する工程を含む、請求項４０に記載の方法。

５９． 前記酸素吸収剤上に酸素取込促進剤を直接導入する工程は、注射器を用いて行われる、請求項５８に記載の方法。

６０． 前記酸素吸収剤上に酸素取込促進剤を直接導入する工程は、酸素取込促進剤を含有する脆弱なカプセルを前記パケット中に置く工程を含み、該脆弱なカプセルを破壊することによって前記酸素吸収剤上に酸素取込促進剤が直接導入される、請求項５８に記載の方法。』